

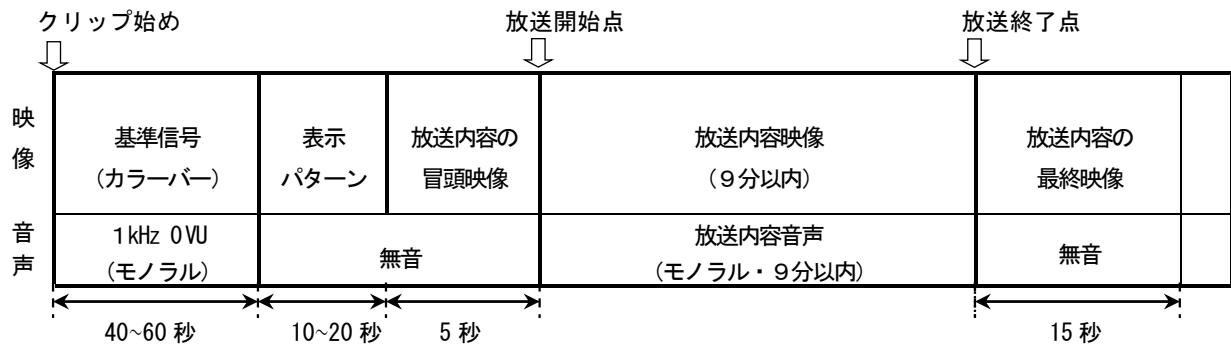


## 資料（２）

- ・デジタル音声信号のプリエンファシスは用いない。
- ・過度のコンプレッションや過度の高域周波数の強調を行わないこと。

（３）タイムコード： 表示パターン開始点から最終映像終了点まで連続したタイムコード（ＬＴＣ）が収録されていること。ドロップフレーム（ＤＦ）を使用すること。

### ＜提出するディスクの収録フォーマット＞



※注 基準信号から放送内容の最終映像までは同一クリップで収録されていること。

### ＜提出するディスクの収録フレーム＞

提出ディスクの内容は、16：9のハイビジョンフレームで制作する。

注意 ※放送は、提出されたディスクからNHKの放送用メディアにコピーして行う。  
※本技術基準は選挙ごとに見直すことがあります。事前にNHKにお問い合わせください。

## 5. いわゆる「光点滅」について

連続する大量のカメラフラッシュなどの映像は、視聴者の健康に影響を及ぼすおそれがあります。NHKで技術的なチェックを行い、健康に影響を及ぼす恐れのある映像があると判断された場合、手直しをお願いすることもありますので、「アニメーション等の映像手法に関するガイドライン」を確認していただき、政見放送の作成にはご配慮をお願いします。

## 6. ラジオについて

### ◆納品メディア

提出にあたっては、テレビと同様にXDカムディスクで納品。  
テレビの音声と同じ内容の場合、兼用することができ、  
別に納品する必要はなし。（その旨を表示パターンに記載すること）

### ◆基準信号

テレビ基準で収録した物を納品。